

複数施設研究用

【情報公開文書】

孤立者支援に向けた苦痛と断絶構造の分析と関係再構築理論の探求

1. 研究の対象

2025 年 9 月 20 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間に秋田県が実施した「孤独・孤立に関する県民の生活状況調査」に回答された方を対象としています。

当該調査の対象者は、10 代から 80 代までの方です。

2. 研究目的・方法

研究では、秋田県における孤独・孤立、ひきこもり状態、社会とのつながり、支援ニーズ等の実態を把握し、今後の支援体制や地域支援施策の改善に役立てることを目的としています。

研究では、2025 年度に秋田県が実施した「孤独・孤立に関する県民の生活状況調査」の回答データを用いて分析を行います。

また、一部の方については、追加インタビュー調査を実施する場合があります。

研究結果は、学会発表や学術論文等で公表する予定ですが、個人が特定される形で公表されることはありません。

研究実施期間:研究実施許可日～2036 年 3 月 31 日

情報の利用及び提供開始予定日:2026 年 8 月 19 日

3. 研究に用いる情報の種類

情報:

年齢、性別、居住地域、同居状況、就労状況、外出状況、孤独感、対人不安、社会参加に対する意識、支援利用経験、支援ニーズ、自由記述内容等

本研究で利用する調査データは無記名式で収集されており、氏名等の個人を直接特定できる情報は含まれていません。

4. 外部への試料・情報の提供

本研究では、2025 年度に秋田県が実施した「孤独・孤立に関する県民の生活状況調査」の既存アンケート調査データについて、秋田県から秋田大学へ提供を受けて利用します。当該データは、パスワード保護された電子ファイルを用い、セキュリティが確保された電子媒体又は電子的手段により提供されます。

提供されるデータには氏名、住所等の個人を直接識別できる情報は含まれていません。

また、本研究で利用する相談支援記録及び対話的面談記録について、個人を識別できる情

報を研究機関外へ提供することはありません。

なお、秋田県ひきこもり理解促進・相談支援事業の実施及び評価並びに支援施策の検討のため、個人が特定されない形で集計結果又は分析結果を秋田県へ報告する場合があります。個人が特定されない集計結果又は分析結果を、パスワード保護された電子ファイルを用い、セキュリティが確保された電子的手段により秋田県へ提供する場合があります。

さらに、共同研究機関である産業医科大学から統計解析に関する助言を受けるため、個人が特定されない集計結果、統計解析結果及び図表等の解析結果を、パスワード保護された電子ファイルを用い、セキュリティが確保された電子的手段により提供する場合があります。個人を直接又は間接に識別できる情報は提供しません。

5. 研究組織

秋田大学大学院医学系研究科 地域心身医療学講座 助教 ヨン キム フォン ロザリン
産業医科大学 IR 推進センター 准教授 井上 彰臣

[その他の機関(既存情報の提供のみを行う機関)]

秋田県健康福祉部障害福祉課 主任 和賀 大

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

なお、本研究で利用する 2025 年度秋田県「孤独・孤立に関する県民の生活状況調査」のデータは、無記名式アンケートとして収集されたものであり、研究者が個人を識別することはできません。そのため、個別の回答データを特定して研究利用を停止することはできません。

本研究は、研究内容について本情報公開文書により公開したうえで実施します。

照会先

研究代表者

〒010-8543

秋田県秋田市本道一丁目 1-1

秋田大学大学院医学系研究科 地域心身医療学講座

担当者: ヨン キム フォン ロザリン

電話: 018-884-6466

作成日 2026 年 05 月 15 日 第 1.0 版

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 宮腰 尚久